

台湾でのITADビジネス拡大を目指す アンカーネットワークサービス

アンカーネットワークサービスは、19年8月に台湾の佳能国際との合併会社である能率昂科循環科技を設立。日本で30年近く事業を進めてきたIT機器の買取り、データ消去、リファービッシュ(ITADビジネス)を台湾でも行う。今回は能率昂科循環科技の事業内容や今後の展望について、宝誠治執行副總經理を訪ねお話を伺った。



能率昂科循環科技の
宝誠治執行副總經理(左)と總經理張耀仁(右)

ーアンカーネットワークサービスについて

1993年の設立以来、循環型社会の形成を目指して事業を進めています。当社は、創業以来「万人万物共存共生」を理念に掲げ、社会循環品である物の命を、その与えられた役割を最後まで全うできるよう永らえさせることを目指してきました。一つのステージで役目を終えた物を、必要としている別のお客様のもとへ。次のステージでも物が役立ち、輝くように。このチャンスメイクとマッチングが私達の使命であると考えています。

アンカーネットワークサービスの日本での事業としては、機器の買取り、データ消去、運搬、廃棄、販売などのサービスを通じた的確な物件処理となります。買取りサービスでは、パソコン、サーバー、ラック、ルーター、コピー機、オフィスデスクなどを取り扱っており、少量から多種多量まで対応しています。データ消去サービスでは世界で唯一、5カ国(イギリス、フランス、オランダ、ノルウェー、ポーランド)及びNATOの認証を受けたBlanco社のデータ消去用ソフトウェアを採用し、世界基準I4規格の消去方式に対応しています。依頼いただいたパソコンやサーバーの消去結果記録は、消去ログとして保存され、信頼性の高い消去レポート(「データ消去作業証明書」)を作成しています。データ消去の方法としては、他にも磁気や物理破壊による消去も行っています。機器の情報管理を徹底するため、検査・データ消去は、

カメラや機械警備による24時間監視下にある専用作業場内で行っています。また、ICカードによる入退室管理システムや、バーコードによる工程追跡管理システムも導入しています。機器のリユース・リサイクルはもとより、産業廃棄物処理業(収集運搬・中間処理)の許可取得により、廃棄物処理も適正に行うことができるため、安心できるワンストップソリューションを提供しています。OA機器のリサイクル率向上のためには、機器を解体し、素材ごとに分別をすることが有効です。解体方法としては、細かい作業が必要なことから、人の手で行うことがもっとも望ましく、当社では、各地の障がい者支援団体と協業し、作業を委託することにより、障がい者の就労支援事業への協力と、OA機器のリサイクル率の向上を実現しています。一方、当社からパソコンをお買い上げいただくお客様には、マイクロソフト社のMARプログラムによる再生パソコン用正規WindowsOSのインストールを始め、サポートサービス、コンシェルジュサービスをご提供し、安心して商品を使える環境を整えています。

ー台湾での事業内容について

そもそもは情報セキュリティへの意識の高まりや、IT資産買取り・適正処理を意味するITAD(IT Asset Disposition)サービスの需要が高まってきたことから海外サービスの検討を行って

日本企業から見た台湾

いた中で、今回合弁会社と一緒に設立した佳能国際には、当社の「万人万物共存共生」という理念や循環型社会実現という考え方に賛同いただいたことで合弁に向けた話が進みました。佳能国際は、事務機器及びオフィス家具の売買、レンタル、メンテナンスを行っている会社で、省エネや環境保護などへの関心が高く、ITADサービスについても台湾での需要の高まりを感じていました。日本での障がい者支援団体との協業についても共感を得られ、日本での取り組みと同じことを台湾でも行えないかということから、ITAD事業を合弁で行うことで合意に至りました。台湾では使用済みのIT機器の買取り、データ消去、リファーマッシュ、部品取りを行います。リファーマッシュというのは買い取ったIT機器を新品に準じる状態に再度戻す作業で、部品取りは、まだ利用可能なCPUやメモリを部品としてリユースするために取り出すものです。再利用ができない物は精錬を行うことで金などの希少金属を取り出します。ちなみに日本では2020年のオリンピックに向けて携帯電話などの機器から取り出した金などをリサイクルしてメダルを作るといことが行われています。リユースできるものはできるだけリユースを行い、難しいものは解体してマテリアルにするということを台湾でも取り組んでいきたいと考えています。

まだ台湾で営業を始めて間もないですが、台湾では使ったPCは廃棄されてしまうことが多く、そもそもデータを消去してリサイクルを行うという認識がまだ醸成されていないように感じています。データ消去面で安心して廃棄PCを渡せる業者も少ないため、実績を作って信頼を勝ち取っていくことが重要だと感じています。

—今後の取り組み

台湾では営業活動を進めるとともに、認証資格の取得を進めていきたいと考えています。ISOやR2の取得を行うべく活動を進めております。R2は責任あるリサイクル(Responsible Recycling)という規格で、電気・電子機器のリサイクルに関連する環境、労働安全衛生、および情報セキュリティに関するマネジメントシステムへの対処、使用済み電気・電子機器や素材に関する、国

内外の取引企業の管理や取扱いへの対処を求めた規格で、運営・管理は米国の非営利団体SERIが行っています。日本ではすでに取得済みであるのですが、海外進出時にR2は必須であると認識しており、台湾でも取得したいと思っています。

台湾での事業推進の次のステップとしては、中国マーケットを狙って拡大していきたいと考えています。商圈規模が大きく産業廃棄に関するマーケットも大きいのではないかと感じており、台湾はそのファーストステップの位置づけです。

—ありがとうございました

能率昂科循環科技の基本データ

会社名	能率昂科循環科技
代表	張 耀仁(董事長 総経理)
設立	2019年
事業内容	中古IT機器の買取り、データ消去サービス、販売等のITAD事

注)2019年10月の情報による
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理